

Management Information

連載 会計実務概論「病医院会計のすべて」

第2部 病院会計制度概論

第9章 損益計算書の内容

収益および費用

9-2 収益および費用の認識・測定の基準

9-2-1 費用収益の計上基準

(3) 実現主義

発生主義は、合理的な計上基準として考えられるが、現金主義が持つ確実性といった長所を失い、主観性や恣意性が介入するという欠点を持つ。とりわけ収益に関しての問題点として、その発生の事実の主観性・恣意性が介入することで、未実現の利益が計上されてしまうので、この問題点を回避する必要がある。そこで考えられた計上基準が実現主義という考え方である。

実現主義とは、(a) 財貨または用役を外部者に提供し、かつ (b) これと引き換えに現金または現金等価物（受取手形、売掛金）などを受け取った場合に収益を計上するという基準である。つまり、(a) いわゆる取引が発生したという発生主義的な側面と、(b) 現金または現金等価物の受取りという事実にもとづく現金主義的な側面の両者を持った計上基準である。病院会計準則では、医業収益は、実現主義の原則に従い、医業サービスの提供によって実現したものに限るとされている。つまり、(a) 医業サービスを提供し、(b) 現金または現金等価物の受取りによってはじめて医業収益が計上できる。

実現主義は、発生主義的な考えに現金または現金等価物の受取りという客観的な事実を用いたことで、主観性・恣意性を排除し、客観性が確保される。また現金または現金等価物の受取りという事実で収益計上するため、収益の見積もり計上などが排除されるため、未実現の利益が計上されることがないという長所を持つ。

病院会計準則では、次のような表現を用い、収益に関しては実現主義を適用することをもとめている。また、同時に未実現の収益は、損益計算に混入してはならないこともとめている。

【病院会計準則】

第4章 損益計算書原則

第35 医業利益

3. 医業収益は、実現主義の原則に従い、医業サービスの提供によって実現したものに限る。

「介護保険事業状況報告(年報)」  
発表

先日、厚生労働省は、2020年度の介護保険事業状況報告を公表しました。この報告によると、2020年度の介護費は、利用者負担を除いた給付費は10兆2311億円となりました。さらに高額介護サービス費等を含めた費用額は11兆542億円となり、「介護費11兆円時代」を迎えたと言っても良い状況です。2025年には団塊の世代すべてが75歳以上の後期高齢者になるので、益々介護費は増加します。一方で少子化により介護業界も人手不足（既に慢性的な人手不足ですが）となり、現在よりも少ない人的資源で多くなる介護者を支えなければならない状況になります。さらに介護サービスはより一層高いレベルのサービスや結果を求められます。この点だけでも非常に厳しい業界であることが伺えます。

◆年度別給付費の推移（出典：厚生労働省資料）

